春旅5 北海道新幹線で行く

奥津軽いまべつ駅から始まる津軽半島味めぐり

青森県今別町・外ヶ浜町ほか

今年3月26日、いよいよ北海道新幹線（新青森駅～新函館北斗駅）が開業。この春は、青森県側に新しく開業する本州最北の新幹線駅「奥津軽いまべつ駅」で途中下車して、奥津軽の〝おいしい〟を探す旅に出かけよう。

取材・文・撮影＝**蛙子舎（かえるこや）H**　イラスト＝**さとうみゆき**

※イラストマップは北海道新幹線開業後のもので、路線名や各施設へのアクセスは、北海道新幹線開業後の路線名・アクセス方法を記載しています。ここで紹介する奥津軽いまべつ駅は、平成28年3月26日開業です。

1 いまべつ牛ステーキはライス・サラダ・スープ付きで200g3000円（150g2500円もあり。なお、1日限定10食の提供。また、都合により提供できない日もあり）
2 ヒラタケ瓶詰700円など今別産のキノコや山菜の加工品も評判だ
3 お土産にもおすすめ。人気の高いもずくうどん2食入り390円

旅の起点はここから！

津軽半島の旅の起点

道の駅いまべつ 半島ぷらざアスクル

奥津軽いまべつ駅に隣接する

奥津軽いまべつ駅に隣接する道の駅で、今別町の観光情報やおいしいものが揃う。レストランで幻の黒毛和牛とも呼ばれる「いまべつ牛」や、特産品の「もずくうどん」500円が食べられる。産直では新鮮な野菜や魚、地元のお母さん手作りの餅などが手に入る。

●☎0174・31・5200／物販9:00～17:00（3月26日以降は～19:00）、食堂10:00～15:00、喫茶10:00～16:00、無休／青森県東津軽郡今別町大字大川平字清川87-16／北海道新幹線奥津軽いまべつ駅から徒歩2分

伝統の味と新しい味 春の奥津軽で満腹旅

新幹線を降りたら奥津軽いまべつ駅の駅本屋と昇降棟を結ぶ連絡通路から、まずは今別町の景色を一望したい。

おいしい旅の出合いを期待しつつ訪ねた「道の駅いまべつ 半島ぷらざアスクル」のレストランで、いきなり目に入ったのは「いまべつ牛」のステーキ。生産頭数が少なく幻の黒毛和牛ともいわれる「いまべつ牛」だから、ここは迷わず200gを選択。柔らかいうえに肉の臭みやくどさが感じられず、また今別名産の昆布でも1年目の若生（わかおい）昆布を粉末にした昆布塩をステーキに付ける新しいおいしさに、あっと言う間に完食してしまった。産直に並んでいたのは、地域のお母さんたちが手作りする色とりどりの餅。1本のツルからひとつの実だけ育てられた甘みの強い「一球入魂かぼちゃ」を使ったかぼちゃもち、伝統的な海峡もちや小豆が入ったがっぱらもち、そして新登場の新幹線もちなど、あれこれ選ぶのが楽しい。

食後の腹ごなしなら、道の駅いまべつにあるレンタサイクルで町を回るのが一番。荒馬（あらま）の里資料館では、8月上旬に行なわれる「荒馬まつり」の展示を見学できる。木製の馬の頭部が付いた衣装で太鼓に合わせて勇壮に踊り、馬の働く姿を表すという江戸時代発祥の祭りを実際に見たくなった。

4 タイミングによって旬の魚介や海藻が並ぶ日も
5 上から時計回りに、がっぱらもち、かぼちゃもち、新幹線もち、海峡もち各100円
6 「私たち大川平加工グループが手作りしたお餅を食べに、今別町にお越しください」と地元のお母さんたち

レンタサイクルが便利 おすすめスポット

奥津軽いまべつ駅からの今別町散策にはレンタサイクルがおすすめ。電動アシスト付き自転車も無料で貸し出してくれるので周辺観光にもってこい！ 道の駅いまべつ 半島ぷらざアスクル内で借りられる。

●☎0174・31・5200（道の駅いまべつ 半島ぷらざアスクル内）／貸し出し時間9:30～16:30／無料

今別町の祭り文化に触れられる

荒馬（あらま）の里資料館

旧大川平小学校の校舎を利用した資料館。今別町の郷土芸能「荒馬まつり」の写真をはじめ、大川平地区の太鼓に山車の扇ねぶた、荒馬踊りに使う衣装や道具を展示している。

●☎0174・35・3012（今別町企画課）／4～10月は10:00～15:00（11～3月は休、※要望があれば開館）／無料／青森県東津軽郡今別町大字大川平字熊沢67（旧大川平小学校）／北海道新幹線奥津軽いまべつ駅から自転車約15分または徒歩30分。またはJR津軽線大川平駅から徒歩6分

上／廊下に並んでいたのは衣装に付けられた馬の頭だ
下／教室には荒馬まつりの太鼓と道具

青函トンネルを通過する大迫力の新幹線

青函トンネル入口広場

青函トンネルの本州側入口のすぐ横にある公園。展望台が整備されているので、トンネルを出入りする北海道新幹線の迫力ある姿が間近に見られる。

●☎0174・35・3012（今別町企画課）／見学自由／青森県東津軽郡今別町大字浜名字黒崎地内／北海道新幹線奥津軽いまべつ駅から自転車約40分、またはJR津軽線津軽浜名駅から徒歩20分

展望台から新幹線の撮影に挑戦してみよう

※定休日や時間は、平成28年2月1日現在の情報です。

3月26日開業！

約25mの高さがあるガラス張りの昇降棟が目を引く

奥津軽いまべつ駅

本州最北の新幹線駅。津軽半島周遊の拠点として、また北海道からの玄関口としての機能が期待される。この駅には1日14本（上下7往復）の新幹線が停車する。